

平成 29 年度

学生によるオレンジリボン運動

関西福祉大学 実施報告書



実施主体 社会福祉学科佐伯文昭ゼミ(共催:兵庫県児童養護施設連盟等)

実施内容 平成29年10月14日~15日大学祭(汐風祭)にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

佐伯ゼミと兵庫県下の児童福祉施設と協働で開催するため、事前に打合せを行い、啓発活動の具体的な内容を決める。今年で5回目の開催である。2年生を中心に、事前に児童虐待の学習を文献、DVD、行政担当者への聞き取り等で行い、児童虐待・オレンジリボン運動についての認識を深めた。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

兵庫県民に人気のある「ゆるキャラ『はばタン』」による啓発、来場者に児童虐待の定義や実態、施策等の説明とアンケート調査を実施した。また、兵庫県下の児童福祉施設紹介冊子と児童福祉施設のパネルによる施設紹介を行った。さらに親子の絆を深めてもらうため、親子ふれあいコーナー(オレンジはばタンの塗り絵、折り紙、マラカス作り、カプラ、アートバルーン、新聞プール等)を設け、800名の親子に楽しんでもらった。

③オレンジリボン運動を終えて・・・

大学祭に来場された多くの方に児童虐待の実態を知っていただくために、「親子ふれあいコーナー」をより充実しました。人気のあった新聞プールの改良とアートバルーンの充実、さらにカプラ、ドキドキアンパンチを用意し、来場者が800名に達しました。

学生は文献、DVD等で児童虐待の様々な知識を得、さらに赤穂市の担当者から児童虐待の実態を学ぶことにより、児童虐待の防止に強い関心を抱き、このオレンジリボン運動により、児童虐待の啓蒙・啓発の思いを少し果たせたのではないかと思います。

多くの学生は児童虐待(児童福祉)への関心をさらに深め、卒業後、児童に関連する職業に携わりきたいとの気持ちを強く持ったように感じます。

来年度もオレンジリボン運動を実施する予定ですのでよろしくお願い



いたします。

【関西福祉大学】

